

オールケーシング工法

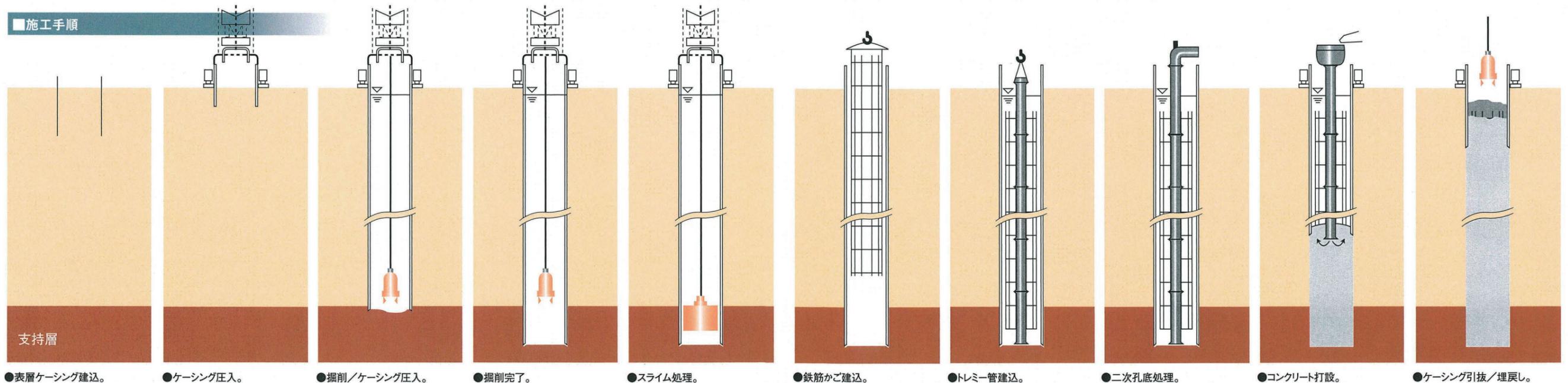
■工法説明

オールケーシング工法とは、地盤掘削において、孔壁保護のため杭全長にわたってケーシングチューブを揺動圧入しながら土質および杭径に応じたハンマージェラブを用いて所定の深さまで掘削し、鉄筋籠の建込み、コンクリート打設を行い現場にて杭を築造する。

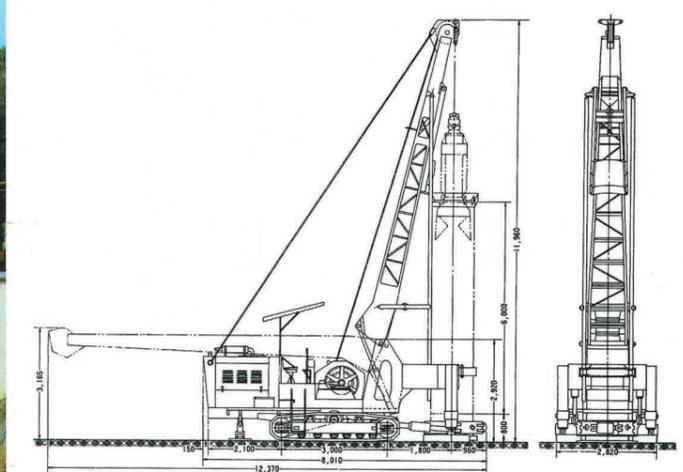
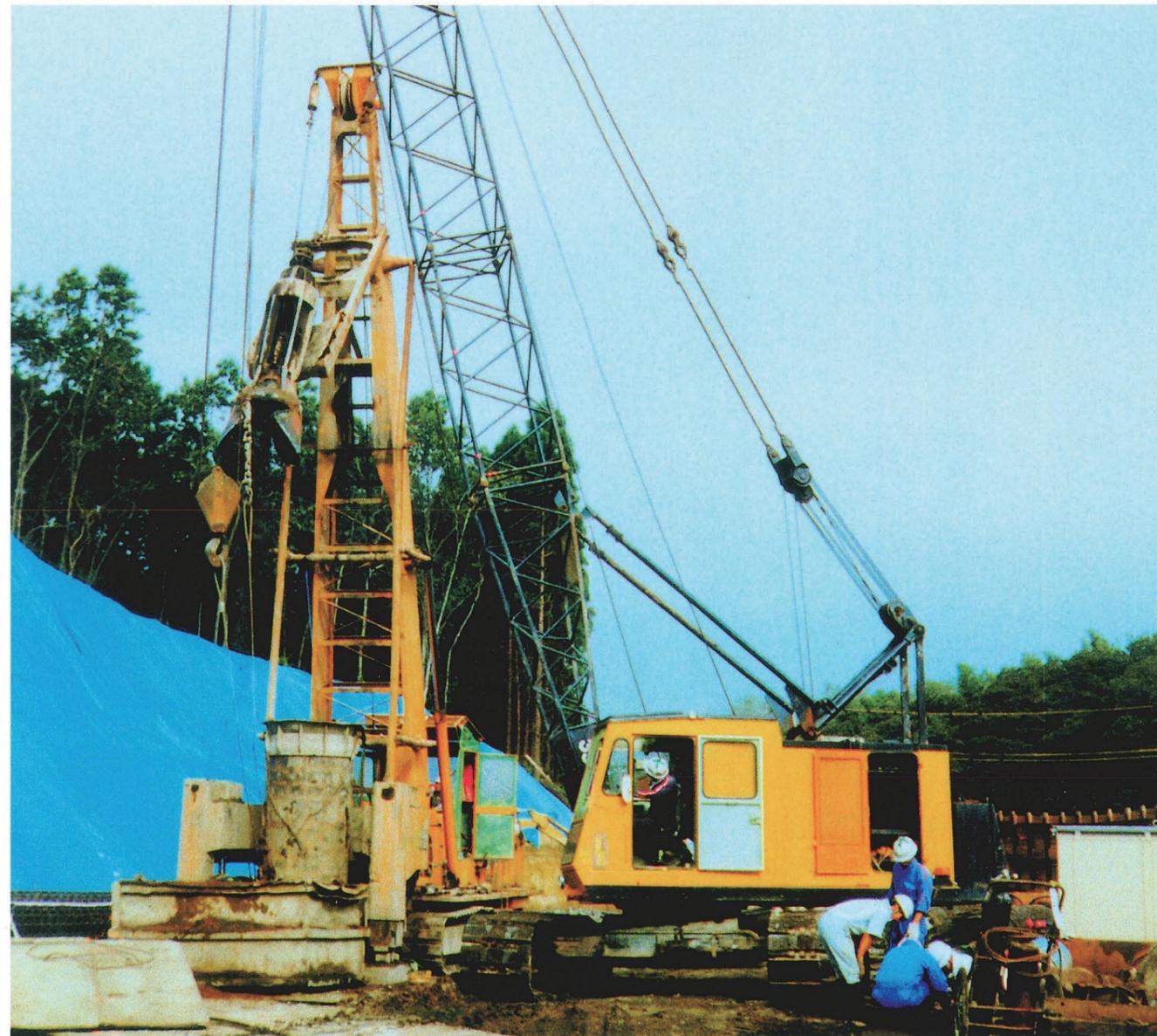
■工法の特長

1. 杭全長にケーシングを使用するので孔壁の崩壊が無い。
2. 確実に杭断面形状を確保できる。
3. ケーシングチューブ内径の1/3以下くらいの玉石の掘削が可能である。
4. 残土の処理が比較的容易である。

■施工手順



●表層ケーシング建込。 ●ケーシング圧入。 ●掘削/ケーシング圧入。 ●掘削完了。 ●スライム処理。 ●鉄筋かご建込。 ●トレー管建込。 ●二次孔底処理。 ●コンクリート打設。 ●ケーシング引抜/埋戻し。



●オールケーシング掘削機 (MT-150)